

【専門分野】

【理学療法学科】

科目名	職場管理学						
担当講師	及川龍彦						
実務経験の概要	理学療法士 医療施設・老人保健施設において実務経験を有する。						
履修年次	4	単位数	1	時間数	30	開講時期	後期
授業形態	講義/実技/実習/オムニバス						

授業概要

管理とは何か、ということを通じ、様々な観点から理学療法の現場における管理の必要性を学修します。

学修到達目標

1. 管理とは何かを理解出来る。
2. 管理の種類と考え方を理解出来る。
3. あるべき管理者の姿について考察できる。

授業計画

- | | |
|------|------------------|
| 第1回 | 管理とは |
| 第2回 | リハビリテーション科における管理 |
| 第3回 | 管理運営 |
| 第4回 | データ管理 |
| 第5回 | 業務管理① |
| 第6回 | 業務管理② |
| 第7回 | 労務管理① |
| 第8回 | 労務管理② |
| 第9回 | 経営管理 |
| 第10回 | リスクマネジメント① |
| 第11回 | リスクマネジメント② |
| 第12回 | 人材育成 |
| 第13回 | 職能団体 |
| 第14回 | 管理者のあるべき姿① (演習) |
| 第15回 | 管理者のあるべき姿② (演習) |

評価方法

筆記試験

教科書

プリント教材

参考図書・文献

リハビリテーション管理学 (医学書院)

履修上の留意点及び講義時間外の学習(予習・復習)

学生諸君は現在管理される側にいますが、臨床においてはあらゆる場面で管理が必要となります。未来の事と思わず、しっかり学修してください。

【臨床実習】

【理学療法学科】

科目名	総合実習						
履修年次	4	単位数	16	時間数	720	開講時期	通年
授業形態	実習						

実習目的

1. 理学療法における一連の業務を実践出来る。
2. 論理的思考過程を実践出来る。
3. 施設職員の準理学療法士として、適切な行動ができる。

実習概要

指導者の指導のもと、一連の理学療法を実践します。

学修到達目標

1. 理学療法について一連の流れを理解できる。
2. 理学療法業務を実践できる。
3. 臨床実習施設において準職員としての行動を取れる。

評価方法

提出課題

履修上の留意点及び講義時間外の学習(予習・復習)

学内での学修に励み、別に発行される「臨床実習のしおり」を熟読したうえで望んでください。